

**「一人も取り残さない」ための包括的学習支援展開事業
ー拠点型・アウトリーチ型学習支援を組み合わせー**

社会福祉法人 さぽうと21

1 団体概要

<団体の目的>

難民等日本に定住する外国につながる方々の自立を助け、もって多様性を尊重する寛容な社会の実現に資すること

<事業内容>

- 1 生活支援事業（難民等外国ルーツの学生を対象とする奨学金事業）
- 2 学習支援事業（ボランティアによる日本語や学校教科の学習支援）
- 3 生活相談事業（生活関連情報の提供と相談対応）

1 団体概要（始まりのころ）



1 団体概要（始まりのころ）



1 団体概要 (今)



2 「一人も取り残さない」ための包括的学習支援展開事業 －拠点型・アウトリーチ型学習支援を組み合わせ－

<社会課題>

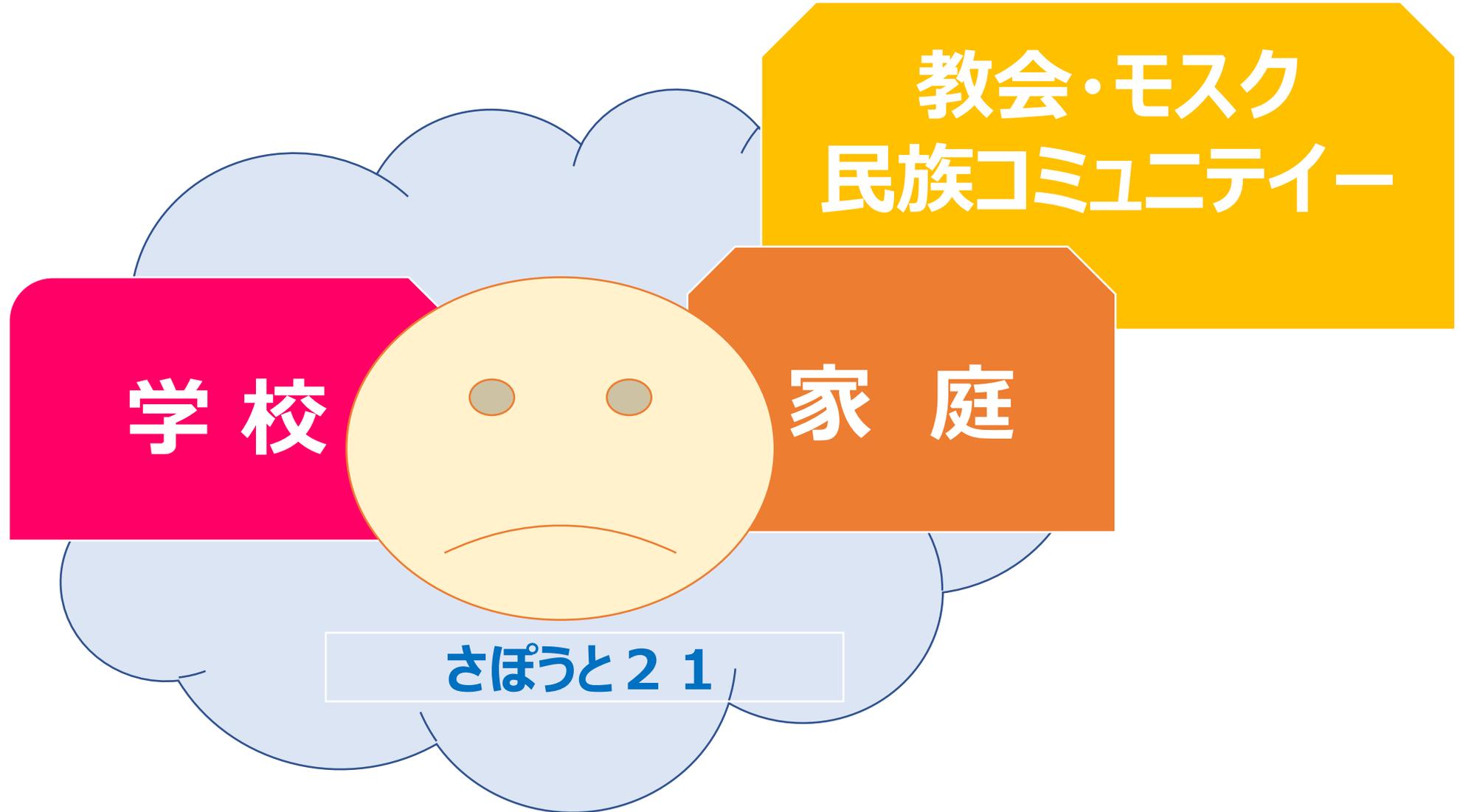
- ・文科省の調査等により、日本語力（基礎学力）の不足する若者の自立の困難さは顕著
- ・自立できない定住外国人の増加は、社会の階層化や外国人コミュニティの孤立化につながる
 - = 日本社会にとって貴重な人財たる青少年が、社会のお荷物になってしまう
 - = 大きな損失
- ・外国ルーツの青少年も等しく教育を受けられる体制整備は喫緊の課題

2 「一人も取り残さない」ための包括的学習支援展開事業 －拠点型・アウトリーチ型学習支援を組み合わせ－

<課題解決に向けて>

- ・公的支援の充実が期待されるも、
- ・それを待っているだけでは、今、目の前にいる子どもたち・若者たちは救えない
- ・公的支援と民間の支援の双方が、より良い方向に向かい、連携しあえる体制をつくっていく必要がある

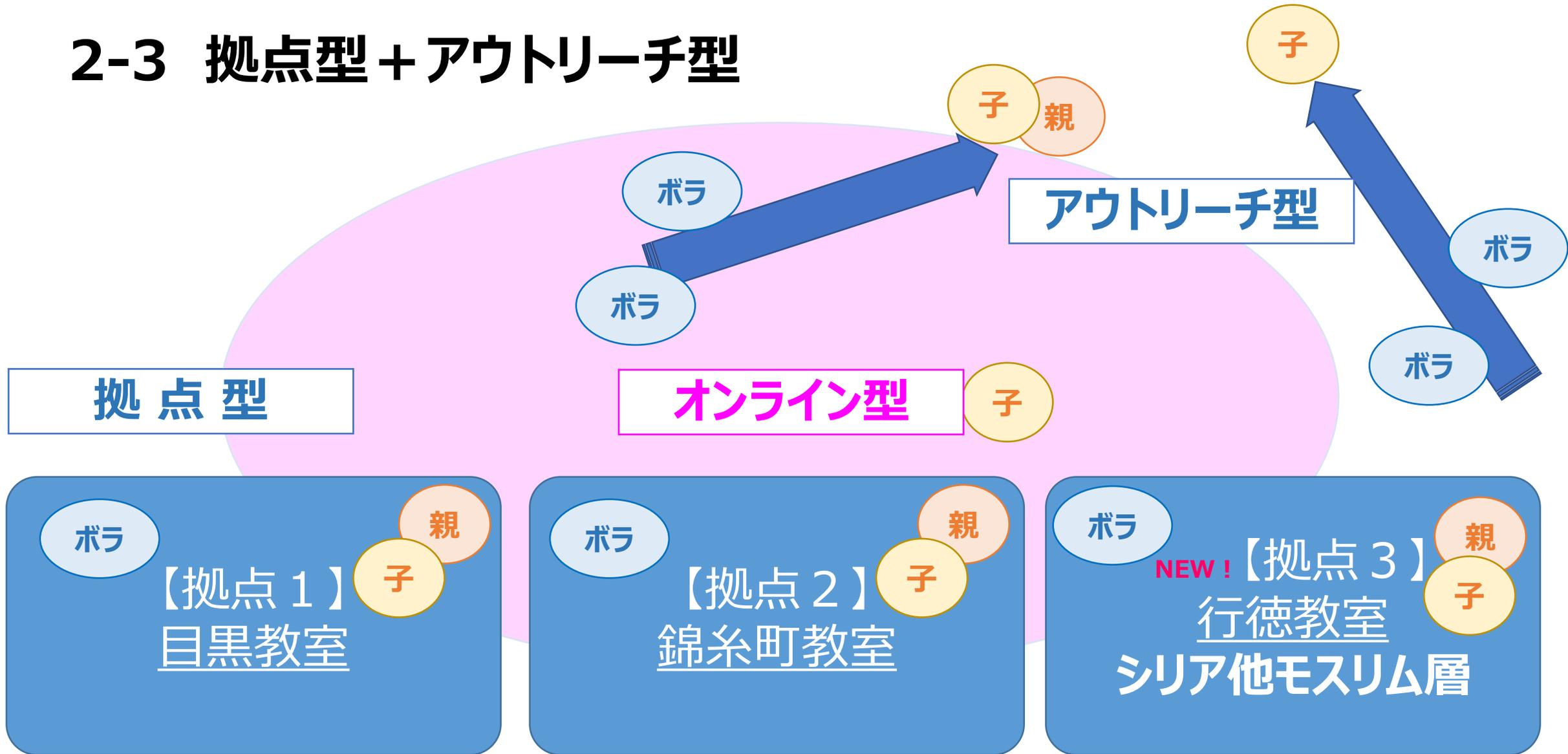
2-1 さぽうと21が知る 子ども・若者たち



2-2 包括的学習支援とは？

- ・子ども・若者だけでなく、大人（家族）も共に学ぶ場を提供する
ボランティアも含めて、様々な年代、多様な人々が共に学び、過ごす場を提供する
- ・学習だけでなく、（家族の）相談にも対応し、公的支援、リソースにつなげていく
- ・「学校と子ども・若者」、「学校と家族」がつながるように、ちょっと手助けする
- ・様々なライフステージに対応し、長い見守りを引き受ける場を提供する

2-3 拠点型 + アウトリーチ型



2-4 学習支援者の増強

1 数を増やす

- ・アウトリーチ型により、拠点型では活動の機会がなかった方々に学習支援のボランティアの機会が提供できる（かもしれない）
- ・学生団体との連携を強化する
- ・学生ボランティアが安心して学習支援に励むことができるバディー制度、見守り制度を取り入れる

2 質を高める

- ・学習支援スターターのための研修の充実
- ・学習支援継続者のための勉強会の実施（DLA他）
- ・学習者アンケート、自己評価の実施

2-5 社会への発信

1 支援記録の公開（ホームページブログ）

※主催団体だけではなく、活動するボランティアがそれぞれの場でも発信をしていく

2 拠点型＋アウトリーチ型学習支援のモデル提示

※報告書（動画あり）の作成

※シンポジウムの開催

社会福祉法人さぽうと21



〒141-0021

東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階

TEL : 03 - 5449 - 1331

E-mail : info@support21.or.jp

平日 10:00 ~ 18:00

さぽうと21



Support 21 Social Welfare Foundation